

Time Machine、移行ユーティリティ、およびクローン作成ソフトウェア

【移行ユーティリティ】

Time Machine、Acronis、Migration Assistant などの移行ユーティリティは、一般的に Smart のライセンス・システムではサポートされていません。このため、新しいコンピュータやハードドライブにファイルを移行する際は、**Smart をアクティベートしたまま**にしておくことが非常に重要です。

移行方法によっては、Smart が再度アクティベーションを要求する場合がありますが、マシン ID に変更がなければ、Smart がライセンスサーバーと「再同期」し、以前と同じアクティベーションシートを使用しますので、問題なくアクティベーションができるはずです。新しいコンピュータやハードドライブで Smart を起動した際に、エラー523 が発生した場合は、[こちら](#)のエラー解決に関する記事を参照し、smart@otk.co.jpまでお問い合わせください。

移行の前に Smart をディアクティベートすると、ライセンスが破損する可能性があります。ライセンスが破損すると、特定のコンピュータでアクティベーション/ディアクティベーションを行うたびに、メーカーサポートが必要になります。

【ディスクイメージングとクローン作成】

Smart のライセンス・システムは、ディスクイメージングやクローン作成をサポートするようには設計されていません。そのため、クローンを作成するドライブに Smart をインストールしないでください。イメージを作成するコンピュータに Smart をインストールする必要がある場合は、マスターイメージ上でインストーラを実行せずに、インストーラをマスターイメージ上の適切な場所に配置し、ターゲットとなるマシンをイメージした後インストーラを実行してください。これにより、Smart が適切にアクティベートされ、ライセンスの破損を防ぐことができます。